

『**盈たして 進むⅡ**』



地域の大人に見守られながら…

先月の「盈進っ子の心を見つめる教育週間」では、ご来校いただきありがとうございました。頑張っている姿を見ていただいたことで、子ども達の励みになりました。実際のところ、教室での子ども達は、普段とは違った（大人から見られる）状況だったので、とても緊張していたと思います。手を挙げる数も少なく、発表する声は小さく、動きもどことなくぎこちなかったでしょう。しかし、子ども達はこのような経験を繰り返して、少しずつ度胸がつき、自信を得て、「たくましく」なっていきます。地域の方に見守っていただくことは、こういうよさにもつながります。教育週間は終わりましたが、学校へはいつでもお越しください。不審者以外は歓迎です。



まちをきれいに



教育週間の初日、全校児童で学校周辺の清掃を行いました。朝、通学路を歩きながら「歩道の草が伸びてきたなあ…」と気付いた時には、すぐに、老人会など地域の方々が草刈りをしてくださいます。お世話になってばかりではなく、自分たちも少しは地域の役に立とうと、学校の近くのゴミ拾いを定期的に行っています。短時間なので、なかなか遠くへ行けませんが、何かの機会に少し足を伸ばして活動したいと考えています。また、学校支援会議のみなさんと協議し、子ども達の学びを大切にしながら、「ふるさと」に貢献する活動を進めていきます。



何かの機会に少し足を伸ばして活動したいと考えています。また、学校支援会議のみなさんと協議し、子ども達の学びを大切にしながら、「ふるさと」に貢献する活動を進めていきます。

楽しかった「ふれあい音楽集会」

教育週間の中日には、『津軽三味線つばき』のみなさんをお招きして、ふれあい音楽集会を開催しました。長年培ってきた技はさすがの腕前で、リズムカルな演奏の中に、三味線の迫力や音色の変化などがあり、子ども達は身を乗り出して聴き入っていました。代表者数名は、演奏体験をさせていただきました。「難しかったけれど、音が出せてよかった。」と、喜んでいました。子ども達は、お礼に鼓笛演奏と全校合唱「宝島」を贈り、最後には会場全員で「ふるさと」を合唱して集会は幕を閉じました。音楽と触れ合うことは子ども達にとって大切なことです。しかし、それ以上に、地域の方々とのふれあいを通して学ぶことは、何事にもかえがたい貴重なものであり、ふるさとを誇りに思えるひとときだと感じました。来年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

